

# High ♥ Line Wakabayashi はいらいん若林

みんなでここさ

入らいん!

若林区まちづくり協議会会報

2008.2.1

Vol.

11

## 七郷堀の直下トンネル工事

今回紹介するトンネル工事（七郷堀幹線工事）は、これまで大雨の際、七郷堀にあふれ出していた下水を一時的に地下トンネルに貯留することで、雨天時の用水堀の水質改善を図ろうとするものです。

工事は平成二十二年の完成を目指し、現在進行中。このトンネルの完成により、いつもきれいな水が流れる七郷堀になるといいですね。

どうして、新しい  
トンネルが必要なの？

今、若林区役所から七郷堀の下を広瀬川に向かって大きなトンネルが掘り進められています。このトンネルは全長約一四キロメートル、内径三メートルもあります。

七郷堀沿いには合流式下水道の広瀬川幹線が通っています。合流式下水道というのは、汚水と雨水を一つの管で流すもので、大雨時など下水道管がいっぱいになると雨水吐き口から川や堀などに下水を流す仕組みです。仙台市の下水道広瀬川幹線は昭和三十年代に建設されたもので、近年の都市化により、市中心部からの汚水量が増え、少量の雨でも雨水吐き口か

ら農業用水路である七郷堀へ未処理のままの下水が流れ出し、水質悪化や悪臭などが問題となっていました。

七郷堀の水環境を  
守るために

仙台市ではこのような状況を改善するために、七郷堀幹線工事を進めています。これまで大雨時に流れ出していた下水を一時的にトンネルに貯留し、晴天時に貯留した下水をポンプで汲み上げ、下水管に戻して南蒲生浄化センターに流します。このようにして、七郷堀の水環境を回復するためのトンネルなのです。



▲光輝く七郷堀

蔵前橋雨水吐き口の様子

ひとたび雨が降ると…



▲工事中のトンネルの様子

地面の下は

ハイテクの世界

九月二十一日、編集委員数名が地下のようすを見学して来ました。階段で十八メートル程降りると坑内に到着。そこからトンネルの断面を一気に掘れるシールドマシンで横に掘っていきます。トンネルは崩れないように掘つたらすぐスチール製の補強材を組み合わせ、ボルトで固定し、後でコンクリートを巻いて固めます。掘った土は、地下へ降りた縦穴から外に出してトラックで搬出します。一メートル掘り進むのに、三十分から四十分かかるそうです。工事の際は音と振動に細心の注意を払っているということでした。

昔のトンネル工事のイメージからは程遠く、コンピューター化され安全な作業が行われていました。作業に関わる人数の少ないことにも驚きました。

(まとめ 勝又晋井)

会報の愛称

「はいらいん若林」とは

仙台弁の「入らいん（お入りください）」に英語のhigh（ハイ・高い）と line（ライン・路線、進路などの意）とをかさねあわせた造語です。温かさより高いレベルをめざそうという気持ちが込められています。

## 老壮大学の紹介

老壮大学は区内の6つの市民センターそれぞれで行われている人気講座の一つです。その時々々の時事問題や健康に関すること、地域の歴史など、盛りだくさんの内容が集まった他の受講生の皆さんと一緒に一年間かけてじっくりと学んでいく総合型の講座です。

また、学んだ成果やその間培われたネットワークを活かしながら様々なサークルを立ち上げ、趣味や健康づくりなど充実した活動を行っています。

### 区内各市民センターの老壮大学

(平成19年度 実績)

老壮大学名	人数
南小泉老壮大学 Aコース	122名
南小泉老壮大学 Bコース	121名
七郷老壮大学	124名
あらまち町民大衆	85名
六郷あすなろ大学	165名
沖野耕友大学	84名
若林老壮大学	115名

### サークル・クラブ活動

- コーラス
- 社交ダンス
- ハーモニカ
- 郷土歴史
- ヨガ
- 盆栽
- 健康体操
- 俳句
- カラオケ
- 日舞
- おどりクラブ
- 川柳
- 散策クラブ
- 書道
- 詩吟
- 舞踊

※各市民センターでこの中のいくつかを行っていますので、活動内容については各市民センターへお問い合わせください。

## 取材を終えて

今回、市民センターの人気講座、老壮大を取材、実際に受講させていただきました。

笑いは長寿の秘訣と「落語」、健康を維持しケガを防げるようにと「ストレッチ体操・ヨガ」、そのほか交通安全や悪徳商法の被害防止など、楽しくてすぐに役立つバラエティに富んだ内容。しかも講座内容は、担当者や受講生の話し合いで設定しています。

今回の取材を通じて、区内に6つある市民センターでは、老壮大の他にも様々な講座があり、そこにたくさんの区民の方々が集い、数多くの出会いがあることが分かりました。皆さんもお近くの市民センターをはじめ、新たな自分と出会える、学びの場を見つけてみませんか。(編集部)

# つながりを求めて

## 市民センター老壮大学編

若林区内に住んでいる方々で、既に仕事から離れた人たち。子育てを終えてこれからの人生、何を目標に、あるいは楽しみをどこに求めているのかと悩んでいらっしゃる方々。各市民センター内には、生涯学習の一環として60歳以上の方が集う老壮大学があります。そこで、老壮大学やサークル活動の様子を特集してみました。



散策クラブ 菅場さん



(本多 記)

「旅行するのはどこかいいか」の質問に、首都府カレストよりは、地方が良い」と各地の特徴を説明してくれました。受講者からは次々と質問がくり返され、交流の場となりました。この日は、学内誌「耕し」の原稿用紙も配布され三月修了時に配布されるということです。

(本多 記)



(本多 記)

「何もな」と思っていた六郷でしたが、豊かな自然、素晴らしい風景があった」と、当時の運営委員長、高橋吉太郎さんが話してくれました。

### あらまち町民大衆

#### 散策クラブ

荒町市民センター町民大学の散策クラブは、約十年前から活動しています。主に市内の里山や史跡、街探訪を中心に、年間十二回の散策ですが、十九年には新鮮味を出そうと会員の希望により、山形へ足をのびました。山形の歴史的建造物の見学や漬物文化を楽しみました。

何よりも会員の健康保持を第一に、アップダウンが少ない、キロ数は四五キロにおさえ、参加しやすいようにしています。また、前夜の天気予報で降水率五十パーセント以上の時は翌週に延期します。下見をしてコース、休憩地点などを検討し当日資料を配布、説明してからスタートします。自然を満喫し、おしゃべりを楽しみながらの散策は、生きる喜びを感じ合うひとときです。昼食と団らんの後再び散策してから、散会します。

### 南小泉老壮大学

#### 文化と福祉

講師の先生は仙台市フィンランド健康福祉センター健康開発館ビジネス支援スタッフの海老名真綾氏で、映像とお話でフィンランドの生活のようすを楽しく紹介して下さいました。教育の無償制度、医療費無料、育児手当の支給シニアの生活、と、特に興味のある問題では、自分たちの生活と重ね合わせて考えてしまうのか私語もなく真剣に聞いていました。これは、講座終了後のアンケートにも「行ってみたい」「住んでみたい」「税金の話も聞きたい」などの意見がありました。

税金はかなり高いのですが、老後の暮らしが保障されているので文句は出ないとのこと。しかし「高齢化が進み、今後、今まで同様の福祉が受けられるのか難しいようです」と話した時、受講生たちの顔も少し複雑な表情になったような気がしました。(佐々木 記)

### 七郷老壮大学

#### 絆のある老壮大学

七郷老壮大学は西は蒲町六丁の目地区、東は荒浜地区まで広範囲な地域を担当する七郷市民センターを拠点として活動しています。六十代から九十代の方まで総勢百二十四名の皆さんが、一年間を通して毎月一回(第一水曜日)の講座を楽しみに通学しています。足が悪くても友と顔を合わせるのを楽しみにして「踊りクラブ」や「カラオケクラブ」に参加することを楽しみにしている人も多いそうです。

また運営委員会の自主活動も盛んで、毎年六月には貸切バスを利用して移動研修を実施しているそうです。この取材を通して皆さんの交流がとて活発で、互いの強い絆が感じられました。平成二十七年仙台市地下鉄が開業し、センターの近くに(仮称)荒井駅が開業するとセンターへの通学が大便利になります。多くの方の七郷老壮大学への参加が見込まれ「絆の輪」もより大きく広がっていくのですね。(菅井 記)



### 沖野耕友大学

#### 友情を耕す

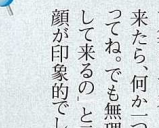
学生同志の友情を耕し、生涯学習の成果を目指す「沖野耕友大学」。十一月の国際交流講座「日本に来て感じたこと」を見学させてもらいました。東北大学工学部留学生フロリア・ミハイユリアンさんが母国ルーマニアについて、写真やワイングラス、織物を見せてお話ししてくれました。出身のブラショフはルーマニアの第二の都市で、武蔵野市と姉妹都市となっており日本人が常駐して日本の文化を広めているそうです。光ファイバーで東北大学が有名なことや、共産国時代に八木アンテナで他国の情報を得ていたことが、留学先を選ばし理由になった話に、仙台のすばらしさを再発見しました。輸出用ガラス工業が盛んで、ワインも世界一、そして豊かな自然「旅行するのはどこかいいか」の質問に、首都府カレストよりは、地方が良い」と各地の特徴を説明してくれました。受講者からは次々と質問がくり返され、交流の場となりました。この日は、学内誌「耕し」の原稿用紙も配布され三月修了時に配布されるということです。

### 六郷あすなろ大学

#### 六郷ふるさと音頭の思い出

九地区の老人クラブ会長が運営委員会を構成しています。平成十五年に地域の自慢大会を開催、地区内の風景の愛の協力をあけてもらい、六郷ふらさとカランダー」を作成しました。翌十六年に上飯田・日迎今泉種次・藤塚下飯田・三塚塚・二木井土、それぞれの地区が歌詞を持ち寄り「六郷ふるさと音頭」ができあがりました。音頭は振り付けもして講座の中で発表し、その後市民センター祭りなどで歌い踊られています。同大学のサークル「六郷なでしこ会」も、依頼を受けて踊りを披露しながら普及に努めています。

「何もな」と思っていた六郷でしたが、豊かな自然、素晴らしい風景があった」と、当時の運営委員長、高橋吉太郎さんが話してくれました。



(佐々木 記)

### 若林老壮大学

#### 宮澤賢治の世界 朗読とピアノの演奏

第一部は仙台文学館学芸員の赤岡亜生氏による講話「宮澤賢治の生涯」で、賢治の生い立ちや作品を作る姿勢などを教えていただきました。初めて知る話もあり、みなさん興味深く聞いていました。

第二部は七郷朗読奉仕会の鈴木郷子氏と加藤早苗氏による賢治の作品の朗読と作曲家の宮城純一氏によるピアノ演奏のコーポレーションがあり、みなさん、うっとり聞きほれていました。「朗読が上手で先生の声とピアノの音がきれいに重なり合って、とても感動しました」と好評。「私も長く大学に通っているけど、みんなの講座を受ける気持ちが少しずつ変わってきているね。みんな興味を持って集まってくるようになった。今日来たね、何か一つだけは覚えていこうつねね、でも無理はしない、体と相談して来るの」と言う、おばあさんの笑顔が印象的でした。(佐々木 記)

## 老壮大—ここが魅力!!

(卒業文集から)

- 一年間を通じて、じっくりゆっくりとその時々々の気になるテーマについて、学ぶ事ができます。
- 講師陣もすばらしい。
- 講座内容が実生活に役立っています。
- 同じメンバーで一年間を過ごすので、新たな仲間ができました。
- 入学後のサークル活動も充実していて趣味が見つかりました。

# 地域の イベント仕掛人紹介

～<sup>ふたき</sup>二木集落資源保全隊～



▲ "二木"の葉牡丹



▲ 種まきをする子供たち

夏、井土―長町線の北側あぜ道にヒマワリの花が咲いた。二木の、五キロメートル。秋にはコスモスが風にゆれた。今、大輪の葉牡丹のプランターが歩道を飾る。農地水環境保全事業で、いままでやってきた神社清掃・水路清掃・公道農道の美化維持活動・除雪作業・用排水路の江掛い等の活動に去年花植えを加えた。保全隊の渡辺権悦会長に話を伺う。五月、町内会・子ども会・老人会など六十名ほどでポットに種まき、一ヶ月で苗をあぜ道に移植。苗は六郷中学校や井土浜地区にも贈った。あぜ道の草刈りと共に花の周りの除草もした。屋敷林の竹を切って、ヒマワリの支えとする。見事に咲いたコスモス、車を止めて摘んでいかれるのは苦労した。花は見て楽しんでほしい。「集落でもなかなか会えなかった人に会え、親睦が深まった。いいもんだね。」と目を細める。

若い人が今年の花を何にするかいろいろ考えているそうだ。苗を多く育て他地区にもゆずって、この運動を育てたいという。「こんな楽しいことはない」と参加者の声。

(本多 記)

## 知っていますか!若林区まちづくり協議会 その1

各区には町内会やスポーツ団体、その他の各種団体などにより組織されたまちづくりのための協議会が結成されており、区民がもっと楽しく、幸せに暮らせるまちにできるような様々なまちづくり活動を行っています。このコーナーでは次回以降も『若林区まちづくり協議会』について皆さんにお伝えしていきたいと思ひます。

若林区まちづくり協議会は平成12年に設立され、年間を通して区内の行事やまちづくりに関して区民の立場から活動している組織です。皆さんよくご存知の区民まつりも、そしてこの会報の編集・発行もまちづくり活動の一環として行っている事業です。

若林区の発足と同時に始まった「区民ふるさとまつり」は、第19回を迎え、去年は10月21日(日)に開催されました。演芸・伝統工芸コーナー・こどもの楽しめるコーナー・バザー・食を楽しむテントもあり、区民手づくりのお祭りとして、大勢の区民が参加して秋の一日を楽しみました。

(西條 記)

若林区まちづくり協議会

区民ふるさとまつり  
実行委員会

スポ・レクフェスタ  
実行委員会

合唱のつどい実行委員会

プラスフェスタ実行委員会



▲ ザリガニ釣りを楽しむ子供たち



▲ ステージ発表風景



## まちの"笑顔" 一緒に増やしませんか!

まちづくり活動助成事業を募集します (上限50万円、2月12日受付開始)

【問合せ】まちづくり推進課 ☎ 282-1111

詳しくは、1月1日号の市政だよりをご覧ください。

### 若林区まちづくり協議会

..... 事務局 .....

若林区役所まちづくり推進課

〒984-8601 若林区保春院前丁3-1

TEL 282-1111

### 会報プロジェクト メンバー

リーダー 勝 又 久 雄  
西 條 芳 郎  
菅 井 てるみ  
本 多 や 糸 子  
佐 々 木 智 子

### 編集後記

今回初めて、はいらいんの編集に事務局として参加させていただきました。担当させていだいたことによって、自分の生まれ育った若林区に対して新たな魅力を感じたり、知ることが出来たと実感しています。自然に囲まれ季節の移り変わりがはっきりわかる若林区。これから先もふるさとのぬくもりが続いていきますように。

(佐藤伸)